

News Release (3)



【平成 28 年 7 月 21 日 (木) 午後 2 時発表】

▼「地域おこし協力隊ビジネスアワード事業」の採択について

▼概要

総務省が実施する「地域おこし協力隊ビジネスアワード事業」に、南丹市から申請しました以下の事業が採択されることとなりましたのでお知らせします。

※全国で 6 事業採択

事業名：山と道で未来を創る 地域連携森林アカデミー

事業概要：山を地域の財産として木材や燃料などに無駄なく活用するために、山全体に高密度高耐久の路網を整備するための敷設技術を学び、地域の山で活用するためのアカデミーを開講。初年度受講者として隊員を起用。次年度以降は、地域住民等が受講し山の利活用に向けた技術を習得することにより、新たな「しごと」として確立させ、路網敷設作業中の廃材を活用した特産品の開発・販売へとつなげる。

協力隊員：相川 仁 隊員

【地域おこし協力隊ビジネスアワード事業】

地域課題の解決や地域活性化に向けて、地方自治体の支援のもとで起業に取り組む地域おこし協力隊の隊員又は隊員OB・OGの取り組みを総務省がモデル事業として採択し、委託調査事業として実施することで、隊員が起業に取り組む際のノウハウ等の調査・分析を行い、全国へと横展開することを通じて、隊員の活動の一層の充実や地域への定住・定着を後押しすることを目的に実施。

▼この記事に関するお問い合わせ

企画政策部 定住・企画戦略課 担当：森
(電話 0771-68-0003)



プレスリリースに掲載された内容およびお問い合わせ先は発表現在のもので、その後、予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

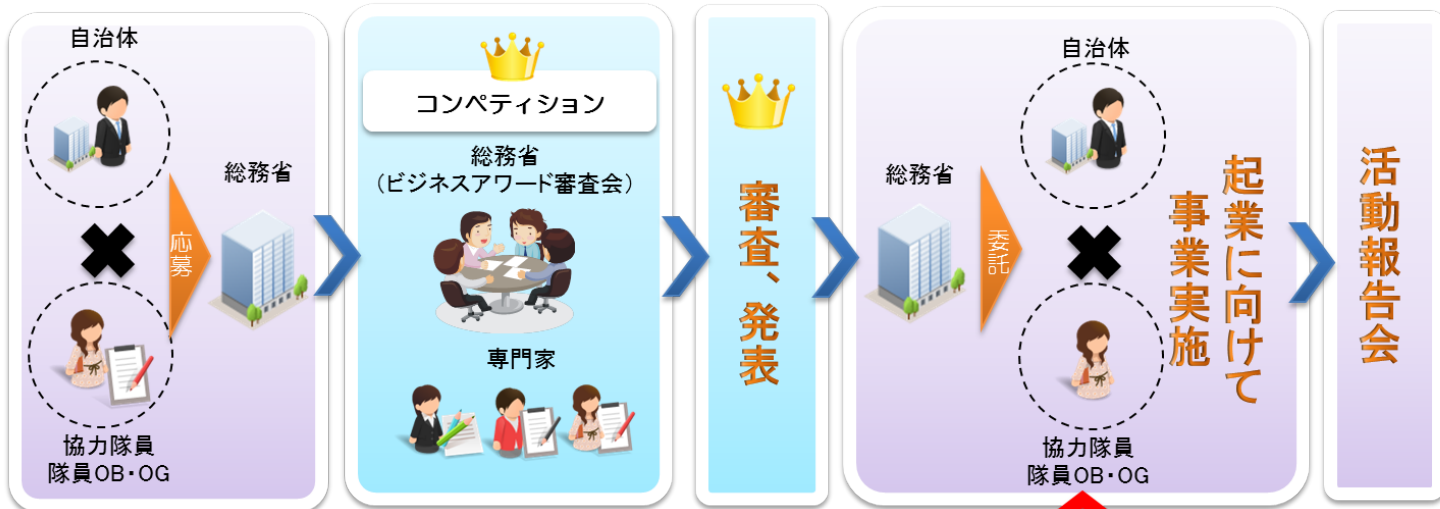
地域おこし協力隊ビジネスアワード事業

自治体の支援のもと、起業に取り組む隊員又は隊員OB・OGの取組みで、先進的なものをモデル的に支援

事業内容

- 地域課題の解決や地域活性化に向けて、自治体の支援のもと、起業に取り組む隊員又は隊員OB・OGの取組みを募集し、専門家による審査会において、**事業実施計画(ビジネスプラン)**を**コンペティション形式**で審査し、**モデル事業**を採択(300万円を上限)
- 採択事業については、財政的に支援するとともに、**専門家からアドバイスと研修機会を提供**し、事業実現へ向けた**継続的なサポート**を実施

【全体イメージ】



専門家から事業実現に向けた継続的サポート

専門家チーム







- ・現地へ招へいし、事業実現に向けたアドバイスと相談対応
- ・専門家が講師を務めるビジネス研修等を実施

ビジネスアワード審査会 審査員・アドバイザー

(敬称略・五十音順)

- 慶応大学総合政策学部教授
飯盛 義徳
- (一社)移住・交流推進機構理事
岩崎 正敏
- まよひが企画代表
(元山形県朝日町地域おこし協力隊員)
佐藤 恒平
- エーゼロ(株) 代表
牧 大介
- NPO法人ETIC 代表理事
宮城 治男
- (株)和える代表取締役
矢島 里佳
- (株)studio-L代表
山崎 亮

「地域おこし協力隊ビジネスアワード事業」採択団体

自治体名	事業概要	※提案した協力隊員
<p>長井市 (山形県)</p>	<p>【子育て応援×産業振興「Baby Box」プロジェクト事業】 「天然水100%の子育てライフながい」をコンセプトに、安心して子育てができる環境づくりを進めている同市において、地域で出産から子育てまで支援するアイテムやサービスが詰まった「Baby Box Nagai」を作成。隊員が新規ビジネスとして法人を設立し、その企画・製造・販売を実施するとともに、子育てしやすいまちとしてのPRを図る。</p>	<p>佐藤亜紀(29) 活動時期:H27.4～</p> 
<p>南丹市 (京都府)</p>	<p>【山と道で未来を創る 地域連携森林アカデミー】 山を地域の財産として活用するために、山全体に高密度高耐久の路網を展開するための敷設技術を学び、地域の山で活用するためのアカデミーを開講。初年度の受講者として隊員を起用。次年度以降は地域住民が受講し、山の利活用に向けた技術を習得することにより、技術者として収入を得ることや路網敷設作業中の廃材を活用した特産品の開発・販売へとつなげる。</p>	<p>相川 仁(29) 活動時期:H28.1～</p> 
<p>美馬市 (徳島県)</p>	<p>【食と農と手仕事の海外交流・発信プロジェクト】 将来的に、同市の食と農を融合させた地産地消オーガニックカフェを情報発信拠点として、フランスで新規オープン(2019年目途)させるべく、現地との交流事業を実施するとともに、手作りの藍染・和傘の魅力の海外(特にフランス)への発信による地域産品のPRと輸出、文化交流等につなげるために、交流事業や調査研究を実施する。</p>	<p>岩田るみ(45) 活動時期:H27.10～</p> 
<p>島原市 (長崎県)</p>	<p>【食べるほど美味しくなる農家育成型ネット販売】 各農家を取締役とした株式会社を設立し、島原市の地元野菜の全国に向けたインターネット販売を実施。売り上げの一部を栽培研修開催経費に充て、更なる品質向上を目指すとともに、同市への農業体験ツアーを企画し、生産者と消費者相互のコミュニケーション深化を図る。</p>	<p>光野竜司(25) 活動時期:H28.1～</p> 
<p>竹田市 (大分県)</p>	<p>【竹ノhaco 子どものためのプロジェクト～ころざし no 種まき～】 親子の繋がりを生むための親子体験型事業や子どもの有効な放課後活用を促す支援事業等を実施。地方ならではの方法で共働き家庭のサポートや放課後の有意義な利用を検討し、移住者が懸念する都会と地方の教育に対する意識の乖離解消を図るとともに、子育て世代の移住促進へつなげる。</p>	<p>小笠原順子(35) 萩原悠子(33) 活動時期:H28.4～</p> 
<p>瀬戸内町 (鹿児島県)</p>	<p>【奄美大好き 島地ビール開発事業】 奄美群島の島人が奄美群島の原材料を活用した奄美群島ならではの独創的な地ビールを製造。島人が集い、観光客も訪れる小売及び飲食店の運営や地ビール手作り体験施設での観光体験等も通して、島での雇用創出と地ビールという一つの観光資源創出に取り組む。</p>	<p>泰山祐一(30) 活動時期:H27.6～</p> 

外部講師

作業道敷設技術



作業道敷設

受講者
(協力隊)

製材加工技術

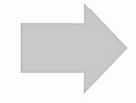


製材加工

地域住民

技術を
地域外へ販売

購入者



取り出した木は有効利用

支障木

従来の道と比べ
高度が上がっても
敷設可能

登りやすく
永きにわたり
利用しやすい道

水はけもよく
後の整備もしやすい

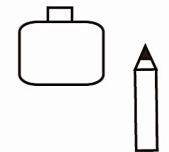
ターンする
スイッチバックポイントに
製材所・ストックヤード
木の家など設置可能

地域住民が様々な関わり方で山に入る

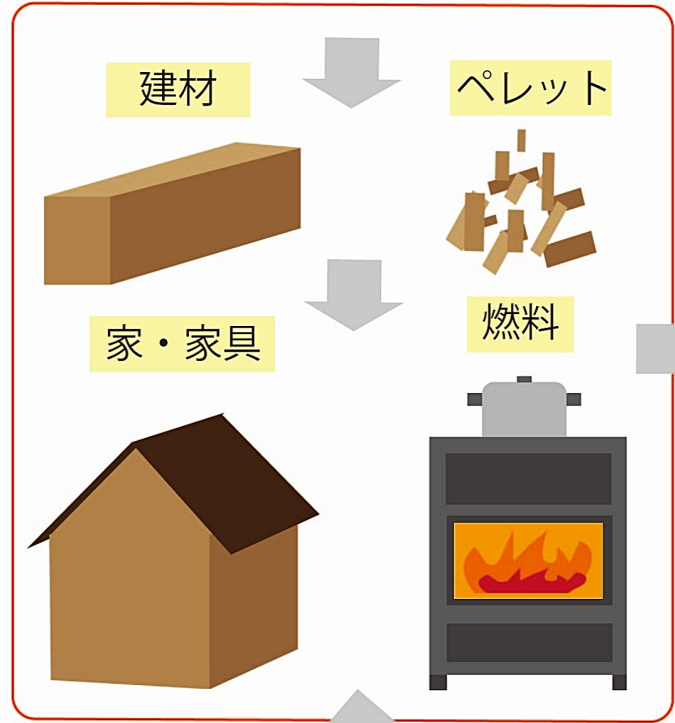
地域住民



地域住民



地域住民



材料・燃料を
地域外へ販売

購入者



道の駅など、地域の拠点へ
地域住民へ還元